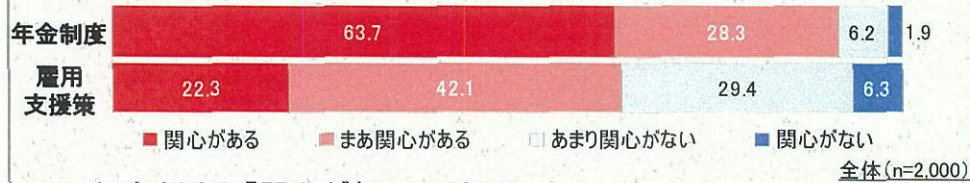


3-1. 雇用・年金制度について

関心度

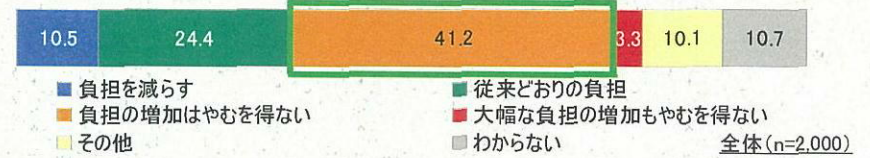


- 年金制度に「関心がある」人は64%。「まあ関心がある」人を含めると全体の92%の人が関心をもっている。
- 年代が高くなるほど関心も高くなる傾向。
- 雇用支援策に「関心がある」人は22%。「まあ関心がある」人を含めると全体の64%の人が関心をもっている。
- 女性の方が関心は高く、「関心がある」・「まあ関心がある」の合計では男性を6ポイント上回っている。
- 年代別では、20代、30代の若年層で関心が高め。

問題点・改善点

- 自由回答を大別すると「年金制度」「年金負担」「年金給付」「雇用支援策」に大きく分かれた。
- 「年金制度」に関しては、“無駄遣いを減らすべき”“年金制度の抜本的な改革が不可欠”など年金制度自体の不信感からくる意見が目立つ。
- 「雇用支援策」に関しては、まずは“雇用の拡大”“正規雇用の促進”を挙げる人が多い。その他、“定年の引き上げ”、“育児支援策の強化/女性の雇用支援”などが続く。
- “年金未払い問題の解決”を望む声も挙がっている。

給付と負担のバランス



- 「給付水準を保つために、ある程度の負担増加はやむを得ない」と考える人が最も多く41%。大別すると、負担増について反対が35%、容認が45%となっている。

高齢者と現役世代の負担のあり方



- 「高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」と考える人が最も多く44%。

雇用支援策に関する優先課題



- 今後最優先すべき雇用支援策についての課題としては意見が分かれています。